

赤谷の森・基本構想2015 目次

はじめに

=== 1章 ビジョン ===

- (1) 理念、大局的なビジョン
 - 1) プロジェクトの目的
 - 2) プロジェクトの基盤
 - 3) 赤谷プロジェクトの社会的位置づけ
 - 4) 赤谷の森の地理的な位置づけ
 - 5) エリア区分
- (2) 赤谷の森の望ましい姿
- (3) 順応的管理
- (4) 赤谷プロジェクトのガバナンス

=== 2章 赤谷の森の現状 ===

- 2-1. 赤谷の森の歴史
- 2-2. 野生動植物の状況
 - (1) 植生
 - (2) 大型猛禽類（イヌワシ・クマタカ）
 - (3) 哺乳類
- 2-3. 特徴的な自然環境
 - (1) 溪流環境
 - (2) 南ヶ谷湿地
 - (3) 三国山お花畑
- 2-4. 人工物等
- 2-5. 地域と森林とのかかわり
 - (1) 地域の精神性を支える森林
 - (2) レクリエーション利用
 - (3) 水源・温泉源
 - (4) 学校教育・社会教育の場
 - (5) 持続的な資源利用
 - (6) 地域住民の意向把握

=== 3章 取り組むべき課題 ===

- 3-1. 課題を抽出する際の前提となる目標
 - (1) 生物多様性と生態系機能の向上・修復
 - (2) 地域自然環境の確実かつ科学的な保全の実現
 - (3) 自然資源の管理・活用を通じた持続的な地域づくりへの貢献
- 3-2. 課題
 - (1) 生物多様性の高い森林への誘導
 - (2) 生物多様性保全と資源の循環的な利用との両立
 - (3) 水源涵養機能の向上
 - (4) 森林文化・景観を形成する場としての価値の共有
 - (5) 野生動物との共存
 - (6) 溪流環境の復元と生物多様性のあり方
 - (7) 周辺地域と一体となった地域生態系の管理
 - (8) 周辺地域における地域づくり
 - (9) モデル地域にふさわしい森林生態系の体系的な管理技術の集積と管理の枠組みの検証・確立

=== 4章 赤谷の森の管理の方針 ===

- 4-1. 赤谷の森の管理の方針
- 4-2. 人工林管理
- 4-3. 自然林の管理
- 4-4. 特別の取扱いが必要な対象とその取扱いの考え方
- 4-5. 多様な主体で森を管理するための取組
- 4-6. モニタリング